

相談事例

ID: 01-02-012

相談タイトル

自宅建替えに関する相談

Q: ご相談内容

築50年の住宅（自宅）。リフォームか建替えかをハウスメーカーに相談したところ、同じくらいの費用がかかると言われたので建替えに決め、消費税が8%のうちにと思い、昨年3月に契約をした。その後、母の具合が悪くなり、自分自身も体調を崩し仕事を辞めてしまった。建替の計画について、話が進められず今に至り、ハウスメーカーの営業担当からは、このままだと建替えではなくリフォームになると言われた。その時は何故かと思ったが、色々検討した結果、愛着のある現在の住まいをリフォームするほうが良いと思うようになり営業に相談した所、建替しか出来ないと言われた。現在、設備等を決める段階でどんどん金額が跳ね上がっており、外構工事等も含めると3000万円程になると言われているが、きちんとした積算を出して欲しい。どのように対応したら良いか聞きたい。

A: 回答

相談者の方の考えや希望をきちんとハウスメーカーに伝えることが第一に必要と考えます。
相談者の方が、建替えではなくリフォーム希望なのであれば、現在の住まいを解体してからでは取り返しがつかないこととなりますので、ハウスメーカー側がそのような話をして、取り壊したくない旨を明確に伝える必要があります。工事費用に関しても、予算オーバーであれば、相談者の現状を伝えるとともに、はっきりと予算も伝えるべきと思います。相談者ご自身では対応がうまくいかないのであれば、建築の知識のある方に一緒に対応して貰うなどの方法も検討する必要があると考えます。